

な貧乏になつてゐるから、其人等に大きな貨屋をたて、おやんなさい

と、一々指圖をせられた。慾兵衛は勿論、いやで

仕方がないけれども、夫を聞かねば、肉の正身一斤丈け取れといはれるし、しよう事なしに、夫

を承知する事になつて、とうとう其金を受け取つて、濟して貰ひましたとさ。

めでたし

編輯記事

從來弘道館でして居つた會費の徴收も、愈先月から本會直接に扱ふ様になつて幹事一同頗る多忙を極めたので、本年は誠に繁劇な新年を迎へましたが、幸に事務も整理して雑誌の發行も、定日には必ず發行する事の出来る様になつたのは、誠に悦ばしく存じます。

夫れに付けても驚きましたのは、會員諸君に會費未納者の多いことです、何卒是は一日も早く御納付下さる様に御願ひ申します。滞つた上に催促のはがきを出す様では、拾錢の會費は八錢にも七錢にもなつて、終には會が立行かなくなるかも知れません。未納會費の中、昨年四月より十二月迄の分は、書肆弘道館より催促が参りませう。

が御拂込は御便宜本會なり。弘道館なり何方へでも御送り下さい。弘道館の宿所は廣告欄にあります。

本號には短歌選集に差支があつて、切迄に間に合ひませんでした。から次號に並べて載せることに致しました。それから先々月分の短歌賞品は幹事非常に多忙の爲め發送が遅れて申譯がありませんでした。漸く手がすいたので、先月十日發送致しました。あんなに遅れる筈ではなかつたのですが、何せ年末に際して會計の引繼と云ふ面倒な事を遣つたので、何もかも遅れ勝になりました。何卒惡しからず御諒承下さい。尙本月よりは引續き懸賞で短歌とお伽話と一般の記事とを募集することにしましたから、續々御投稿下さい。詳しくは表紙の第三面を御覽下さい。

本號には精巧な紀念繪端書を添へて聊か本月の佳節に對して祝意を表しました。實は本誌七週年の紀念として前號に附けたかつたのです。が印刷其他の都合で止めにして、新に此二月號に於て十一日の佳節を祝した次第です。

夫れから會員諸君の御轉居は其都度速に御報知下さることを御志願ない様に願ひたく御座います。

雑誌が轉居先不明で毎月幾つも戻つて参りますから

